



3年ぶりの学校開催の山商祭！ 笑顔がはじけた二日間！！

1学期の締めくくりの行事となる山商祭が7月15日(金)・16日(土)の2日間にわたって開催されました。コロナ禍の影響で、一昨年の山商祭は中止、昨年は会場を「やまぎん県民ホール」に移しての開催でしたので、従来通り学校を会場としての開催は実に3年振りとなりました。

今年度もコロナの第7波が到来し、感染者が爆発的に増えている状況のなかで、コロナウイルス感染症対策を十分に行う必要があるために、様々な制約の中での開催となりました。このような厳しい条件の下、クラス企画や文化部発表、そして全体企画等、どれも活気にあふれた素晴らしい内容でした。新しい校舎での1回目の開催でしたが、本校舎の施設・設備を上手に利用し、かつ、紹介動画はどれも質の高い作品がたくさんあって、大変楽しむことができました。

山商祭を通して、各クラスや部活動が一致 団結している姿が印象的でした。生徒の溢れるパワーとエネルギーを感じる二日間となりました。「Team 山商」の力を存分に発揮した山商祭、この力を進路実現や今後の学校生活に繋げてほしいと思います。伝統ある山商の文化祭、「山商祭」をしっかりと次代に紡ぐことができました。



ブックトーク開催

みんな、本を読もう！

7月7日～11日にかけて実施された全校読書週間(毎日30分間の朝読書)に続いて、7月12日～14日にかけて「ブックトーク」が実施されました。これは、読書に親しむとともに自分の感じたこと、考えたことをまとめる力、表現する力を養うことを目的としています。

生徒一人一人がクラスメイトに紹介したい本について、2分間でプレゼンします。聞き手は、発表後に1分間で評価や感想を記入します。これを毎朝50分間実施しました。

読書週間前には、新しい図書館・ラーニングコモンズでブックトーク用の本を探す生徒の姿も見られました。ブックトークでは、「その本の内容を教えること」ではなく、「その本の面白さを伝えること」または「聞き手にその本を読んでもらいたいという気持ちを起させること」にあります。自分が紹介したい本の魅力を十分に伝えることができましたでしょうか。

クラス毎に最優秀者1名、優秀者2名が、夏休み明けに表彰されました。



この夏、山商生が世界で、全国で、大活躍！

IH 陸上競技男子やり投げで清野康介（3年）全国優勝！！

<世界大会>

南米ペルーの首都リマで開催された競泳の世界ジュニア選手権大会において、2年の長岡愛海が女子50メートル背泳ぎと同100メートル背泳ぎの2種目で銀メダルを獲得しました。特に、100メートル背泳ぎでは、トップとは0秒01差であり、念願の金メダルまであと一歩でした。

本校には水泳部がなく、「校外活動」として所属している「山形ドルフィンクラブ」で日々練習を重ねてきました。その努力が実りました。今後は、最終的な目標であるパリオリンピック出場を目指して頑張りたいと思います。



<全国大会>

この夏のインターハイ「躍動の青い力 四国総体 2022」には、レスリング(団体・個人)、女子剣道(団体・個人)、男子陸上・女子陸上(個人)、男子体操・女子体操(個人)、女子ソフトテニス(個人)、男子水泳(個人)が出場しました。その結果、男子陸上やり投げで清野康介(3年)が見事優勝し、日本一に輝きました。また、女子陸上100mHで高橋亜珠(3年)準優勝、同棒高跳で今井颯希(1年)が第7位入賞を果たしました。陸上部は出場した3名全員が入賞する快挙でした。日本一の栄冠がまた一つ増えました。

一方文化部も負けてはいません。この夏、商業探究部珠算・電卓班、商業探究部タイピング班、商業探究部簿記班、商業探究部コンピュータ班が全国大会に出場しました。その結果、電卓読上げ算で伊藤陸渡(3年)が第4位、珠算読上げ算で湊谷柊(3年)が第6位の入賞を果たしました。100年を超える歴史を誇る本校において過去最高成績を収めてくれました。なお、英語部、産業調査部はこの秋に全国大会に出場します。

これらの活躍を受けて、8月22日に始業式に続いて全国大会入賞報告会が開催されました。入賞した5名が壇上から活躍の状況を報告し、全校生徒及び全教職員から心からの祝福を受けました。

